



オクソン

倶楽部



1994年 初 春 号

明けましておめでとう
ございます。
今年は大の年です。犬
は昔から人間と生活を共
にしてきましたから、私
たちは、犬を通して自分
を反省することが多かつ
たようです。

インツプ童話といえ
ば 教訓的要素の強い童話で
すが、この童話に、足る
ことを知らなかった犬の
話があります。

川辺に一匹の犬がいま
した。下を見ると大きな
肉の塊を加えた犬が水面
に映っています。それが
自分だとは知らないその
犬は、肉の塊を自分の物
にしようと思つて、水面
の犬に向かって吠えつき
ました。その瞬間、自分
の口にあった肉の塊が川
の中に落ちてしまったと
いうお話です。

「足ることを知れ」と
か「腹八分目で我慢」と

かという諺が生まれたの
も、そうすることが自分
にとつて一番良いからな
のでしよう。

バブル経済が破裂して
久しくなりましたが、一
向に良くなる気配が見え
ません。

バブルというのも貪欲
なまでに自分の欲望を求
めていき、それが国民的
規模にまで広がり、足る
ことを知らなかったから
破裂してしまつたのです。
国民が一生懸命に働き

犬年に思う

大森慈祥

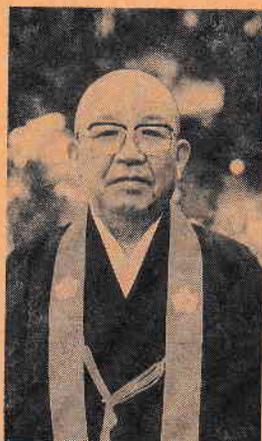
とに重心が置かれ過ぎ、
自分を抑えようとする心
の働きがなかったから破
裂してしまつたのです。

桃太郎が、サル、トリ、
イヌを従えて鬼退治に行
きましたが、この三匹の
家来に何か意味がありそ
うです。

鬼退治に際しての家来
の選定条件は、作戦を練
るための知恵(猿) 命令
に従う柔順さ(犬)とい
うことはよくわかります。
しかし、トリは何だつた

とかなるのでは、という
期待を持ちながら一年が
過ぎて申年になりました。
申年になつても不景気の
風はサルどころか深まっ
たのです。

酉年になつても闇夜を
吹き飛ばすコケコッコ
の雄叫びで夜明けの明る
さはやって来ませんでした。
そして今年は戌年です。
戌に何を期待すれば
いいのでしょうか。
不景気と取り組む桃太
郎という名の経済学者が



大森慈祥

プロフィール

生年月日 昭和五年七月十六日生
現住所 茨木市西穂積町七十一
最終学歴 昭和二十七年 高野山大学
職歴 昭和五七年 社会福祉法
人 祥水園理事長
昭和六二年 学校法人
智辯学園学園長

のかということですが、
キジという字は矢と雉
(トリ)を書きますが矢の
ように早く飛んで行つて
噛み付くのがキジでけん
か鳥で知られるシャモの
先祖といわれます。

桃太郎が家来に選んだ
のは、猿の知恵、犬の柔
順さ、雉の勇氣にあつた
のでしよう。

バブルがはじけた最初
の年は、それほどの深刻
さはなく、一年もすれば
何とかなるだろうという
安易な気持ちを持ってい
ました。そして何

どうすれば不景気という
名の鬼を退治できるかと
いう診断書が「桃太郎」
という昔話に見られる寓
話的解釈だとすれば、戌
年こそ意味深い年だとい
えそうなのです。

鬼が出た最初の一年は
傍観していたが、あまり
にも鬼の素行が悪いので
猿、鳥、犬をつれて三年
がかりで退治したとい
うのです。
一年目は猿を中心とし
て知恵を使って鬼退治を
試みたが、知恵だけでは

(二面に続く)

謹賀新年

お正月は、1月5日
から平常通り
営業いたします

店主

万事如意

辯天宗管七世慈祥

ダメだったのです。翌年は勇気のあるキジを使ってみたが、それでもダメでした。最後に犬の教訓を生かしてみるところまでいったというのです。鬼とは、自分のおなかの中に巣くっている飽くことを知らない貪欲なのかも知れません。

バブルの破裂による不景気という鬼を退治するには、政府（桃太郎）が政策面で知恵を出しても金利の引き下げや、減税をちらつかせて予算面で脅かしても鬼退治はできません。国民の一人一人が足ることを知り、人間の幸せにはモノと同様に精神的なものも欠かすことができないことを忘れてはならないのです。

バブルの原因は、競うようにしてモノに群がったことにあります。土地がいいと思えば土地に群がりました。そして株に群がり、絵画に群がり、投機の対象になるものなら何にでも群がり、手に入れようとしましたが、モノの値段が上がりが、ふくれにふくれて破裂してしまっただけです。

現実の問題として今年こそ不景気を克服しなければなりません。そのためには、私たち一人一人が足るを知り、モノと同様に心にも配慮した生活

をしなければなりません。イソップ童話の犬は、自分のモノを持っていながら、人のものまでほしがったから、今持っている幸せさえ失ってしまっただけです。

バブルの華やかな時には借金してまで自分の資産を増やそうとして結果的には元も子もなくしてしまっただけというのと、どこか似ています。

借金するかしないかは別問題として、このような気持ちは私たちのほとんどの人の中にあっただけです。

「良薬口に苦し」です。苦しい失敗を薬としなければなりません。

今年は桃太郎の鬼退治の最後の年です。今年こそ不景気という名の鬼を退治したいものです。
(辯天宗管長)

毎年十一月第三金曜日
にオクソンで開催される
「ロマネ・コンティを啣く会」、第十八回目は平成五年十一月十九日に、ロイヤルホテルのチーフソムリエを迎え、下記のワインリスト及びディナーメニューにより盛大かつ厳粛に催されました。
料理の器は、英国のヴェジウット本社工場にて特別注文し、一年半の月日を要してオクソンに届



いたディナーセットを使用致しました。今年も十一月の第三金曜日に開催予定、人数は先着十一名様。詳細はお問い合わせ下さい。

BEVERAGE LIST

1. TIO PEPE
2. Chablis-Moreau 1990
3. Montrachet 1988
4. Château Lafite-Rothschild 1982
5. Château De Pommard 1986
6. Romanée-Conti 1982
7. Dom Perignon 1983
8. CHARTREUSE VERT V.E.P

ロマネ・コンティ ディナー

MENU

- 新鮮なカキのジュレかけキャビア添え
- 剣先イカとオマールエビ ソースショロン
- アナゴとフォワグラ
- グリーンサラダ
- オクソン風ステーキ
- パンナコッタ フルーツとナタデココ添え
- コーヒー

オクソンの音楽会のお知らせ

ギタリストの古川ただよし氏による、オクソン如月サロンコンサート...「ふるかわただよしギター&トーク」をお楽しみ下さい。

ふるかわただよし氏プロフィール

1960年 ギタリスト古川律由の長男として大阪に生まれ、幼少よりクラシックギターの英才教育を受ける。

1980年 日本演奏連盟新人選考演奏会にて優勝し、大阪フィルと協演。その翌年、米テネシー州で開催された科学万博にも出演。

1982年 「ラスゲアード」を結成し、ジャンルを問わない幅広い活動を開始。

現在、「おはよう朝日です」「乾杯！トークソング」等のテレビ番組やラジオ、コンサートと各方面で活躍。

期間 2月14日(月)～2月19日(土)
料金 ¥17,000(税、サ、飲物は別)
お食事時間 PM 6:00～
演奏時間 PM 8:00～PM 9:00
特別コースの為、ご予約をお早めに…。
お待ちしております。

上元祭へのお誘い

中国三世紀後半に起こった黄帝や老子を教祖とする、不老長生や、現世利益的・多神教的な宗教「道教」より、上元祭が、始まったそうです。

一年を三百六十日とする道教では、最初の月中、陰暦の一月十五日を「上元」とし、中国では、年の初めの祭りとして上元祭が、今も盛大に行われています。

一年の半分の月中、七月十五日が「中元」となり、昔は京都の御所で中元の行事が行われ、今のお中元の始まりです。

秋の月中、十月十五日が「下元」となり、豊かな天地からの恵みを感謝する祭りです。

久壺庵においての初の新春「上元」を迎えまして、昨秋御好評いただきました下元祭につき、上元祭鍋を、御用意させていただきました。

今回は、冬の珍味「クエ」を中心に、一段と味を増して居ります冬野菜もふんだんに盛り込みました。枯風舞う寒い冬の一夜、初春の宴として、又、親しいお仲間との楽しい語らい等、上元祭鍋にて、心も体も暖まっていただきたく、ご来店お待ち申し上げております。

上元祭鍋おしながき

先付、クエ薄造り、冬野菜、クエ唐揚げ
杏・棗湯、雑炊(杞・松の実入り)、香物、水菓子

期間 一月十七日(月)～一月二十九日(土)

前もつてご予約下さい。

ご予算 一万二千円(飲税サ別)

前もつてご予約下さい。

0111-33110

春の七草考

正月七日の七草粥で使われる、春の七草(セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ)が定着したのは、平安時代からである。

九一年正月七日、後院(醍醐天皇)から七種菜が献じられたことが「公事根源」に載り、清少納言の「枕草子」にも、正月七日の若菜摘みが描写されている。

新年の最初に来る子の日(初子の日)の「ね」と根をかけ、その日根を引くと根が伸びるから、年を延ばし縁起がよいと考えられ、その風習は平安時代に広く行われ、宮中でも若菜が供えられた。

七草のスズナはカブ、スズシロは大根とされるが、鈴は神を呼び清白は穢れのなさを表現している。ハコベラは「はびこる(栄える)」。セリは「競り」で、さらに御形・仏の座といずれも新年の儀式の美称や縁起名を思わせる。ナズナの語源を撫で菜とすれば、これも身体を撫でて、穢れを祓ったのであろうか。

七草はかつて七草雑子と共に、トントんと刻まれた。七草雑子には、中国の古い伝説(正月七日の夜は鬼鳥が多く渡るので、家々は床や戸を打ち追ひ払った)が影を落とし、月日を限定し食べる菜の種類を七種としたのも、これら中国の風俗がルーツと思われる。これに日本の七日に七種の菜を食べ、若菜の息吹・生命力を身体に与えようとする呪術的要素が結びつき、現代に続く「春の七草」となったといえよう。

朝日新聞社 「植物と行事」

湯浅浩史著より
新鮮な「菜」のビタミンや葉緑素は、青物が不足する冬に活力を与え正月疲れの胃にもやさしい、先人の知恵とあります。

久壺庵におきましては七日は、七草ぞうすいを御用意いたします。

コレステロールとしゃぶしゃぶ

寒い季節は、鍋料理が食卓の主役になりそうです。しゃぶしゃぶも鍋料理を代表するもののひとつとしてあげられます。

しゃぶしゃぶのルーツは、中国料理の涮羊肉(しゅわんやんろう)からきており、肉を沸湯したスープのなかにさっと通し、好みの調味料で食べる料理で、日本のしゃぶしゃぶとほぼ同じです。

熱湯のなかで肉をしゃぶしゃぶとふり洗いとるところから名づけられたと伝えられており関西を中心に戦後、全国へ広がりました。このしゃぶしゃぶの食べ方は、コレステロールを少なく摂取する理想的なもので、肉を薄く切ることで、コレステロールが抜けやすい、熱湯にくぐらせることによりコレステロールを落とす、肉と一緒に野菜や白身などの野菜や豆腐などがバランスの取れた食事ができるといったメリットがあります。野菜の食物繊維は、コレステロールを吸着して体外に出す働きをします。

肉を食べるとコレステロールが溜まると思われがちですが、同じ食べるにしても料理法によって摂取される値も違ってきます。コレステロールを少なくさえすれば、肉には血管を強くして脳卒中を防ぐ働きをしますタンパク質が含まれていますから、立派な健康食になるのです。

「草庵茶室 久壺庵」 貸し出しについての御案内

当久壺庵内の三畳台目、草庵茶室と、十八名収容可能なミーティングルーム(ビデオ・テレビ・カラオケ等完備)を、お茶会や、お稽古、気の合ったお仲間の集り等に、ご利用いただけます。

内申し上げます。

貸出し時間 午前十一時より午後三時

お室料金 三万円

0111-33110
委細は平井まで

